

一般質問

【質問】 地域要望の実現と活性化策について伺います。

【市長】 全体予算から対応します。これまで出していた金額と併せ、地域自治の仕組みができたところにサポートいたします。要望を出さない地区にも出せるようにしたいので検討してまいります。

○市長のマニフェストについて
○不登校問題について



おの 小野 寺 重

【質問】 3月の選挙につくられたマニフェストには、失策を重ね先送りや常習化の競馬、土地開発公社、水沢病院問題、合併で生じた不公平感、東京事務所の廃止等4年間で解決するとあります。今まで議会として市当局と問題解決のため特別委員会等を設置し、一定の対策を講じてきた思いでおります。しかも小沢市長も同席し十分に承知のことと思います。マニフェストは立候補者が有権者に対する約束、契約で自己責任が伴うものです。市長の見解と解決策について伺います。

【市長】 今までの基盤の上に立ち4

年間でしっかりした道筋を立てる考えです。不具合が出た場合は議会と協議しながら進めてまいります。東京事務所廃止は今年中に結論を出したいと考えています。



業績回復が望まれる岩手競馬

【質問】 不登校問題の原因は病気やいじめ、学業不振、家庭問題等といわれています。家族との会話もなくなり、いうことも聞かなくなり家庭崩壊にも繋がります。そのような悲劇をなくするよう取り組んでいかなければと考えます。いじめは絶対に許さない姿勢で指導の徹底を願うものです。不登校の現状と対応について伺います。

【教育委員長】 不登校対策はたくましく生きる力を育む学校教育の充実、学力向上を重要課題として取り組んでおります。年間30日以上の欠席者が平成20年は123名、平成21年は87名に減少し、取り組みの成果が表れています。不登校対策実行委員会を開き、子どもにしっかり目を向け、関係機関、家庭、地域、みんなで子どもを育ててまいります。

また、市営医師住宅が雨漏り、寒さ対策等に欠陥があり、長年勤務されている、あるいは、これから迎える医師の方々のために、早急にリフォームすべきと考えます

○市立総合水沢病院の環境整備について
○介護施設入居待機者の解消策について



ちば 千葉 悟郎

【質問】 市長は、市政方針で「医療機関の環境整備に努めます」と述べております。市立水沢病院は、公立病院特例債の活用、医師獲得の対策、医師養成の奨学金制度等で運営に努力してきております。そこで新市長には、当院の築40年以上経過して、古く使用されていない「精神病棟」を解体して、長年待ち望まれている「駐車場」を整備し、当院を利用される患者さん等のために実行することを提案します。

【市長】 解体して「駐車場」にする、50台ほどの車を置くことが可能なようですが、解体費用等を考えると、即答ができません。また、医師住宅のリフォームについては、年次計画で実行します。

【質問】 「居宅介護」は、家族介護や老々介護の強制となつて、さまざまな問題が起きております。市内の介護施設入居待機者数は600名を超えており、国や県の補助事業による介護施設の建設だけでは不十分なので、市の独自で閉校になつた校舎を改築して介護施設として利用すべきと考えますが伺います。

【市長】 学校そのものは、介護施設としての機能をもっているものではなく、改築した場合でも相当費用がかかると予想されます。

